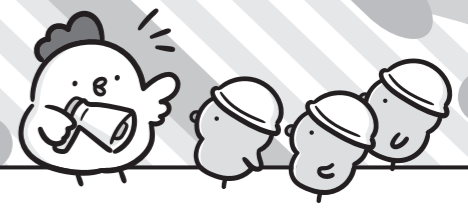




知っておきたい交通・防災のこと



守ろう交通安全

子どものお出かけ中、「ドキッ」とした経験はありませんか？
知っているつもりで知らない交通ルールがあるかも…
事故に遭わないために、一緒に考えていきましょう！

「できていますか？ 子どもと一緒に歩く時のチェックポイント」

- 道路を渡るときや混雑した場所では手を離さないようにする。
道路交通法には「幼児(6歳未満の者)を保護する責任がある者は自分または自分に代わる監護者が付き添わないで幼児を一人歩きさせてはならない」と定められているよ。
- 子どもは道路側ではなく建物側に歩かせる。
道路側に歩かせると車道に飛び出してしまう危険があるよ。
- 子どもは大人よりも視野が狭いので、道路を渡る前には必ず止まって、右左右の順番でよく見ることを教える。
見るだけでなく聞くことも大切だよ。車や自転車の音に気をつけよう。
- 子どもに横断歩道や信号を守ることを教える。
道路は手をあげて渡る。
子どもは背が低いので、身体を大きく見せるためだよ。
- 危険な場所や行動を避けることを教える。
道路や駐車場で遊んだり、車に隠れて遊んだりすることは危険だよ。
また、大きい道路への飛び出し、車のすき間を通ることも危ないよ。
- 青信号が点滅したら渡らない。
渡っている途中で点滅したら、速やかに渡るか引き返す。

番外編

- 自転車に乗せるときはヘルメットをかぶらせる。
→ 令和5年4月からヘルメット着用は全年齢で努力義務になりました！
- 6歳未満の子どもを自動車に乗せるときは必ずチャイルドシートに座らせる。
→ 道路交通法で6歳未満の幼児に装着が義務づけられています！



「すぐプチママが気になる疑問を、交通防犯課佐藤さんに聞いてみました！」

- Q1** 子どもの事故が起こりやすい時間帯はいつですか？
 昨年の統計では12～14時に買い物を目的とした事故が一番多かったです。日中お子さんを連れて行くときは十分に注意しましょう。
- Q2** 助手席に子どもを乗せてもいいのでしょうか？
 後部座席に乗せるのが理想です。しかし、一般的に6歳以上であれば助手席に乗せて構いません。(身長や体重によって異なります。)エアバッグは非常に強い力で膨らむので、子どもの顔や首に当たると危険です。また、助手席の子どもが話しかけるなどして運転の邪魔をする危険もあります。やむを得ず助手席に乗せる場合は、座席を一番後ろに下げましょう。
- Q3** 子どもにどうやって交通ルールを教えたらいいですか？
 まずは大人が交通ルールを正しく理解し、子どもたちのモデルになることです。そして、幼稚園や保育園、認定こども園でやっている交通安全教室を受け、ルールを再確認することが効果的です。交通安全に関する本やメディア(YouTubeなど)も積極的に活用しましょう。



交通防犯課はこんなところ

「交通安全」と「防犯対策」が業務の柱。5人の交通指導員が毎日どこかで交通安全教室を行っています。
IP電話番号
050-5528-5045



取材をしてみた感想

まずは大人が、交通ルールをきちんと理解することが大切だとよく分かりました。今まで「急いでいるから」「子どもが嫌がるから」と理由をつけて、ルールを守れていなかった時もあったなと反省しました。子どもと一緒に楽しみながら交通ルールを勉強していきたいです。

知っておこう防災

いつ起きるかわからない災害時、日立市での取り組みや情報を知っておくと安心ですね。日立市の避難所情報やママの防災バッグの中身など、防災対策を担当の方にお聞きしました！

「すぐプチママのおさえておきたいポイント！」

- POINT 01 危険箇所の確認**
 ★ハザードマップを見て、洪水・土砂災害・津波の危険箇所を確認してみよう！
 災害種別・災害規模に応じて開設される避難所が変わるので要チェック！(基本的には、小学校、中学校、交流センターの順に開設)
 WEB版ハザードマップ
 防災では自助(自分で守る)と共助(近所の方やボランティアの方の助け)が大切なので、日頃から親戚や近所の方と連携しておこう。
 「日立市WEB版ハザードマップ」は災害の内容が選択できて、現在地から避難所の内容が出てくるので便利だよ。在宅避難が可能な場合は、自宅での備蓄を充実させることも大事。
- POINT 02 防災情報の入手**
 ★SNSも大いに活用しよう。最新情報を届けてくれます！
 防災行政無線・防災無線確認ダイヤル0294-22-6131・SNS「日立市の防災と天気」(twitter, Facebook)・FMひたち82.2MHz・JWAY・日立市HP
 「ひたちナビ」地域情報アプリ
 VACAN(バカン)
 VACANはリアルタイムで避難所の混雑状況が確認できて、建物の写真が掲載されているから分かりやすくていいよ。その他、色々情報があるのでぜひチェックしてみよう。
 対象者
 ●妊娠中(8か月以上)の方
 ●おおむね1歳未満の赤ちゃんとその母親
 ●上記介助する家族
 ※現在は、母子手帳を配布時に、この情報が配られているのでチェックしてみよう。
 和室の別部屋は家族が使えるらって。近くにいて安心だね。

防災はママバッグカスタムから始めませんか？

私たちママなら持っている「ママバッグ」に少しプラスするだけで、実は災害時に一晩しのげる防災バッグになるって知っていませんか？今回はママバッグを防災バッグにカスタムするポイントを紹介します！

- ◎基本のママバッグ
- おむつポーチ(おむつ1日分、おしりふき、防臭袋)
 - 着替え一式
 - 軽食(離乳食やお菓子、手口ふき、エプロン、カトラリー)
 - ミルクセットまたはお茶などの飲み物
 - おもちゃ(絵本やシールブック、カードなど 静かに遊べるものがおすすめ)
 - 母子手帳、健康保険証
 - 衛生用品(ハンカチ・ティッシュ、ビニール袋、消毒液)
- ◎プラスしたい防災グッズ
- モバイルバッテリー(日立市では避難所となる小・中学校、交流センターにWi-Fi設置あり)
 - 紙コップ、使い捨て哺乳瓶(紙コップで授乳もできるよ)
 - 汗拭きシート
 - ドライシャンプー
 - 携帯トイレ
 - マスク
 - 生理用品
 - カイロ(離乳食を温めるのにも使えるよ)
 - ヘッドライト
 - ホイッスル
 - 予備のコンタクト
 - 絆創膏
- 普段の持ち物は少し多めに入れておく！
 持ち物の補充のタイミングは帰宅後すぐに！帰宅後すぐに行うことで、夜間の災害にも備えられるよ。
 バッグが重くなりすぎないようにグッズは選定しよう！
 車に避難した場合、水を積んでおくといいよ。折り畳みの給水用タンクもおいておこう。

防災対策課はこんなところ

平時は備蓄品更新や防災啓発、災害時は避難所管理や防災情報発信など、日立市の防災に関する業務全般を担っています。日立市では、防災行政無線(戸別受信機)により防災に関する情報等を広報しています。戸別受信機は無償でお貸ししています。まだお持ちでない方は防災対策課へお問合せ下さい。
IP電話番号
050-5528-5046

取材をしてみた感想

妊産婦避難所が確保されたことはとても安心しました。防災バッグで大切なことは、幼い子どもを抱っこしても走れる重さかどうか、すべて入れるのではなく、日々持ち歩いても苦にならない重さにすることが大事だと感じました。普段の生活も大変ですが、いつ起きるかわからない災害時に少しでも安心した生活を送るために備えておきたいですね。